



岡山県偕行会

令和7年度定期総会

広報担当理事 網島俊昭 陸自81

岡山県偕行会は、去る5月11日（日）10時から、岡山地方協力本部会議室等において次により、総会等を開催した。



1 定期総会

参加者は、元自衛官8名で、10時、開会の辞に続き国旗に敬礼・国歌斉唱、続いて角南会長（陸自75）が開会の挨拶を行い、議事に入った。

議案は、令和6年度事業実績報告、同収支決算報告、監査結果報告が承認された後、令和7年度事業計画並びに予算計画について審議し、滞りなく承認された。特に、令和6年度事業実績報告では、事業推進施策として「忠魂碑等の現況調査の継続」を図り、秋の集中調査により、新たに16か所の忠魂碑を発見することともに、「吉備の国巡礼ウォーク」に2回参加し、9か所の忠魂碑の現況を把握した。また、昨年度から実施をしている「近現代史・思想の調査及び研究」の第2回の催しとして、元幹部陸上自衛官有志執筆の「現代戦研究2024」を資料として勉強会を実施し、参加者相互の意見を交換するとともに理解を深めた。

令和7年度事業計画では、方針として「世代交代による内部態勢の充実を図りつつ、偕行社設立の根本精神「英霊に敬意を」「日本に誇りを」を継承し、戦没者の慰霊顕彰及び陸上自衛隊への支援を主体に事業を推進」し、また「近現代史・思想の調査及び研究を実施する」事を重点に事業を推進していくこととして全員賛同を得た。

2 講演会並びに情報交換会

その後、場所を移して、昨年度同様に岡山県隊友会との共催行事として、11時30分から約1時間、海上自衛隊呉地方総監部幕僚長 今野泰樹海将補による「海上自衛隊・呉地方隊」と題した防衛講話

を拝聴した。

今野泰樹海将補は、昨今のインド・太平洋地域における安全保障環境の厳しさの高まりとともに、海上自衛隊・呉地方隊の任務と重要度の増大について、ユーモアを交えた興味深い講話を聞くことができて大変有意義であった。

続いて、13時15分から情報交換会を実施したが、岡山県隊友会と共催のため旧知のOBとも再会して近況を交換し合うなど、相互理解を深めた。

約2時間の楽しい時間はあっという間に過ぎて、名残惜しかったが来年の再会を約して散会となった。

青森県偕行会

「第2回弘前忠霊塔例大祭」等に協力

会長 稲村孝司 陸自75期
7月27日(日)「第3回弘前忠霊塔例大祭」が行われた。遺族会や県偕行会、県隊友会、弘前駐屯地などの関係者や国会議員、県議ら約60人が参列し、戦没者を供養するとともに平和への祈りを捧げた。県偕行会は、例大祭への協力は勿論、前日の同塔周辺の草刈り清掃奉仕にも現役自衛官70名の協力を得て協力した。同草刈り清掃奉仕は昨年からは例大祭前日に行うこととなった。草刈り清掃が終わった会場では、テント張り等の例大祭